

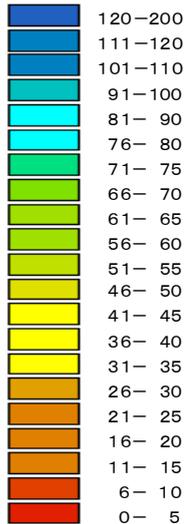
伊勢・三河湾貧酸素情報 (R6-11号)

令和6年9月19日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和6年9月17, 18日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

溶存酸素飽和度 (%)



愛知県水産試験場では、溶存酸素飽和度 50%以下を低酸素、30%以下を貧酸素とし、その広がり範囲を貧酸素水塊と呼んでいます。溶存酸素飽和度 (%) と魚介類への影響の関係は、おおよそ以下のとおりです。

| 溶存酸素飽和度 | 魚介類への影響 |
|---------|--------------|
| 50% | 魚類・甲殻類に悪影響 |
| 30% | 貝類・底生魚類の生存困難 |
| 10% | 全ての底生生物の生存困難 |

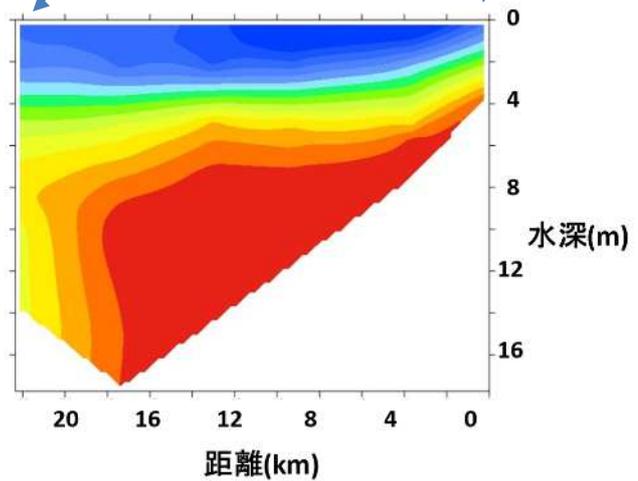
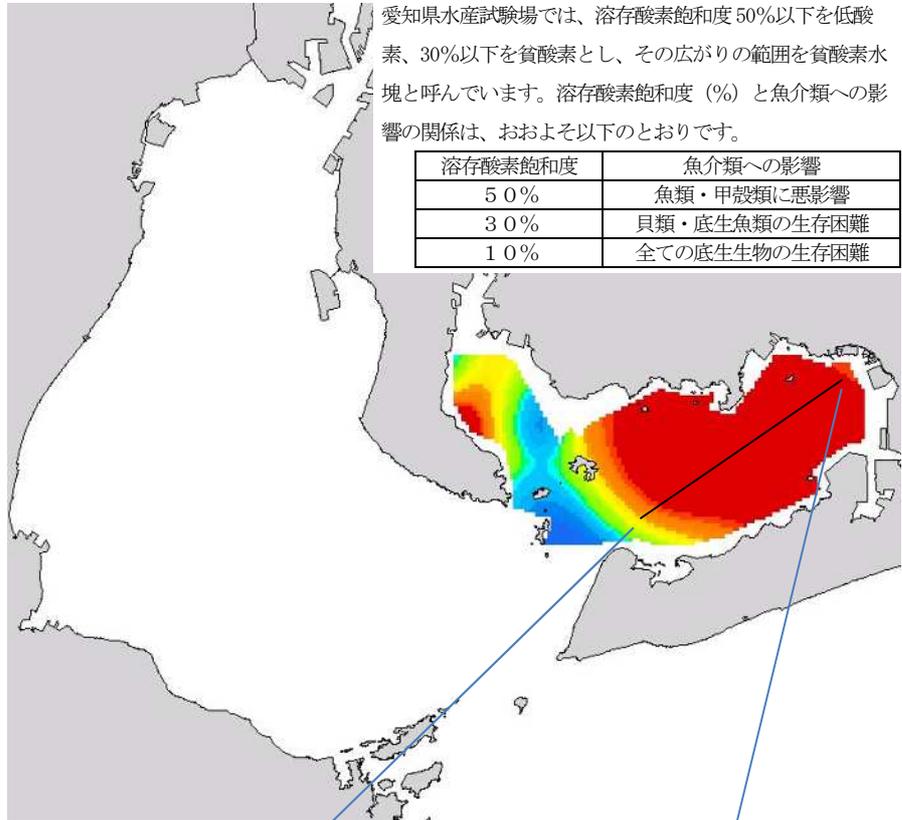


図1 三河湾（9月17, 18日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「へいわ」調査）

三河湾

9月17, 18日の調査結果を図1に示しました。知多湾の西部及び渥美湾の広い範囲で貧酸素水塊が確認されました。9月12日調査と比べると溶存酸素飽和度30%以下の範囲は同程度でしたが、そのほとんどが溶存酸素飽和度10%以下となっていました。今後は、気温の低下や降雨が予想されていることから、表層水温が低下して海水の上下混合が進みやすくなる可能性が考えられます。場合によっては苦潮が発生する可能性があります、注意が必要です。

表2 調査時の水温・塩分

| | 水温(°C) | | 塩分 | |
|----|--------|--------|------|--------|
| 表層 | 29.3 | ~ 31.8 | 17.4 | ~ 28.2 |
| 底層 | 25.9 | ~ 29.6 | 28.2 | ~ 32.5 |

参考

前回調査時の伊勢湾底層の溶存酸素状況

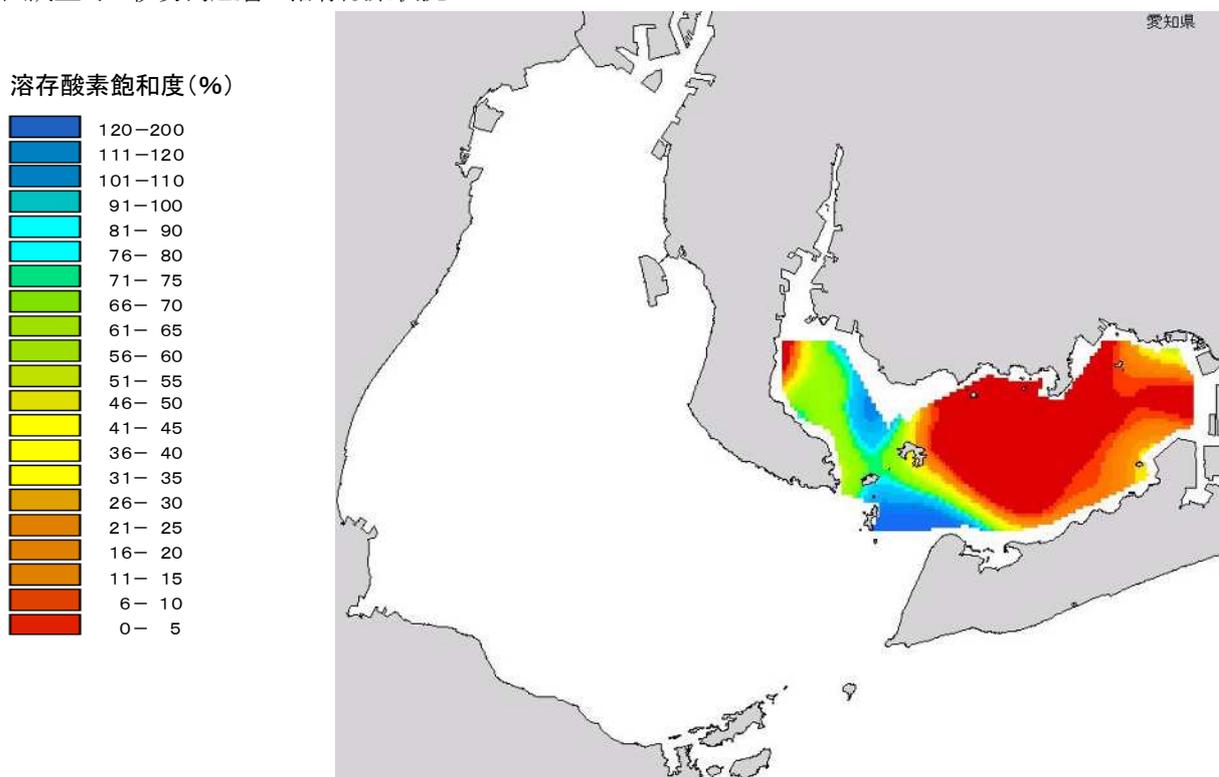


図2 令和6年9月12日(三河湾)